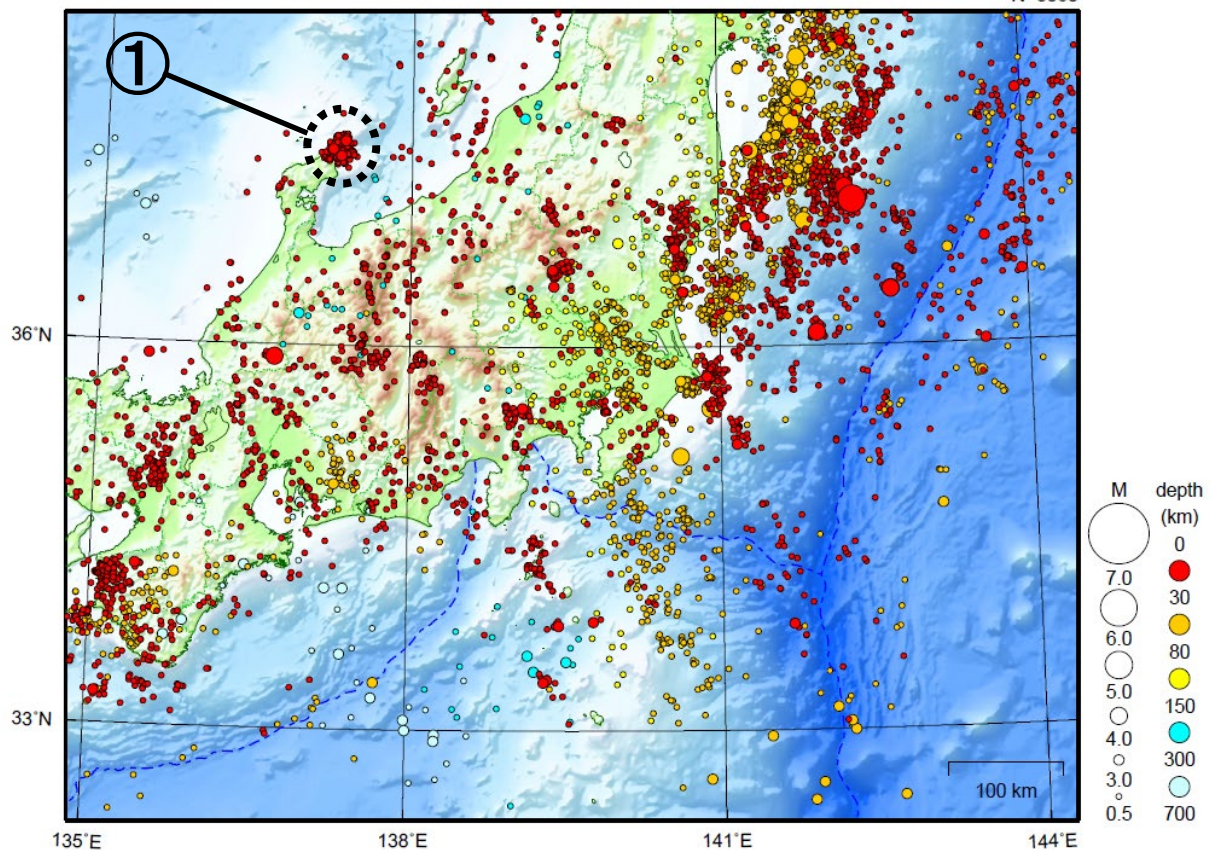


関東・中部地方

2023/08/01 00:00 ~ 2023/08/31 24:00

N=8060



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 石川県能登地方では、8 月中に震度 1 以上を観測した地震が 9 回（震度 2：1 回、震度 1：8 回）発生した。このうち最大規模の地震は、3 日に能登半島沖で発生した M3.4 の地震（最大震度 1）である。

（上記期間外）

9 月 5 日に千葉県北西部で M4.6 の地震（最大震度 3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

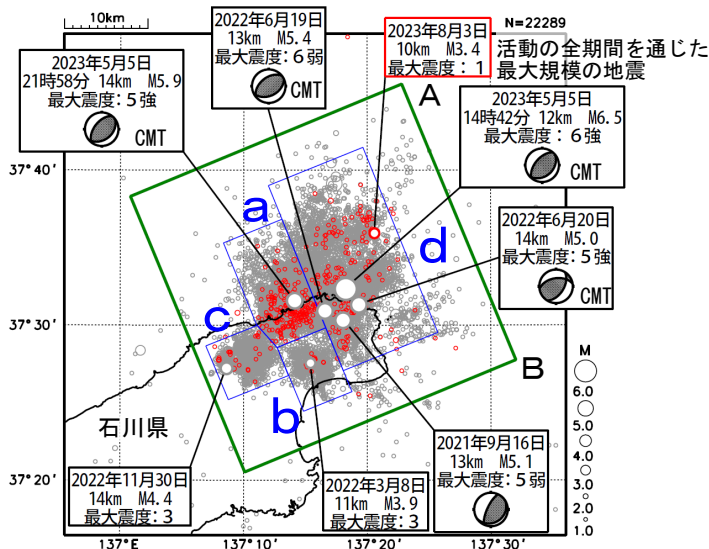
石川県能登地方の地震活動

震央分布図

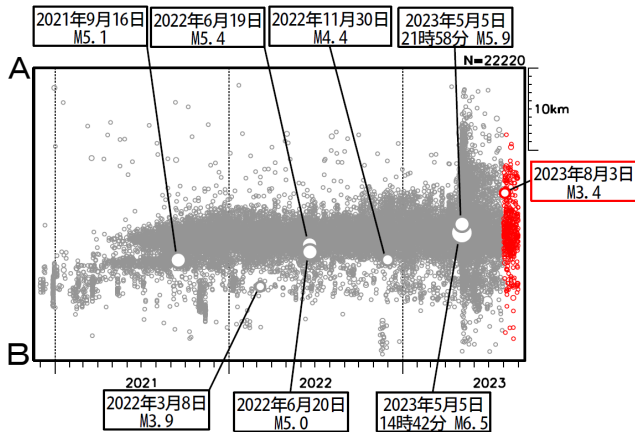
(2020年12月1日～2023年8月31日、
深さ0～25km、M $\geq$ 1.0)

2023年8月の地震を赤色で表示

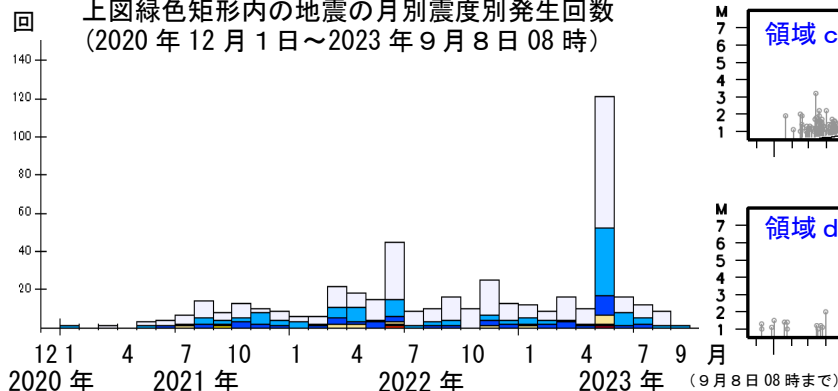
- ・ 黒色の吹き出し：領域a～dの各領域内で最大規模の地震及び最大震度5弱以上の地震
- ・ 赤色の吹き出し：緑色矩形内で2023年8月中の最大規模の地震



上図緑色矩形内の時空間分布図 (A-B投影)



上図緑色矩形内の地震の月別震度別発生回数
(2020年12月1日～2023年9月8日08時)



期間別・震度別の地震発生回数表

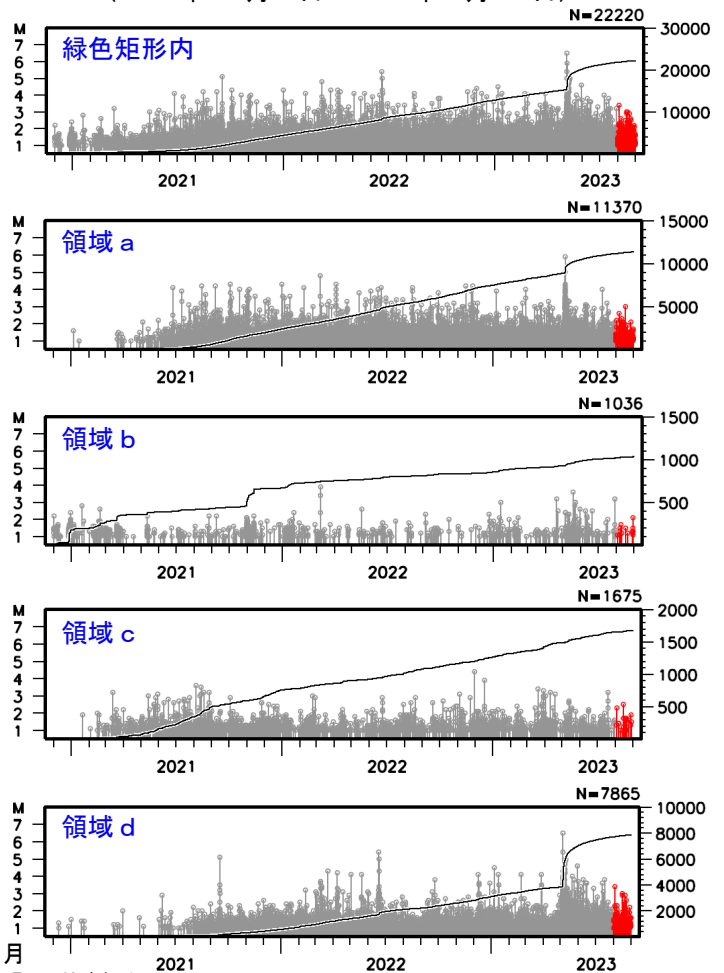
期間	最大震度別回数								
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	計
2020年12月1日 ～2023年7月31日	285	110	48	13	1	2	1	1	461
2023年8月1日～31日	8	1	0	0	0	0	0	0	9
2023年9月1日～8日08時	0	1	0	0	0	0	0	0	1
計	293	112	48	13	1	2	1	1	471

石川県能登地方 (震央分布図の緑色矩形内) では、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になり、2021年7月頃からさらに活発になっている。2023年8月中も活発な状態が続いている。2023年8月中の最大規模の地震は、3日に能登半島沖で発生した M3.4 の地震 (最大震度1) である。なお、活動の全期間を通じた最大規模の地震は、2023年5月5日 14時42分に発生した M6.5 の地震 (最大震度6強) である。

2023年5月5日に M6.5 の地震 (最大震度6強) が発生した後、地震活動がさらに活発になっていたが、時間の経過とともに地震の発生数は減少している。

緑色矩形領域内で震度1以上を観測した地震の回数は、期間別・震度別地震発生回数のグラフ及び表のとおり。

左図緑色矩形内及び領域a～d内の
M-T図及び回数積算図
(2020年12月1日～2023年8月31日)

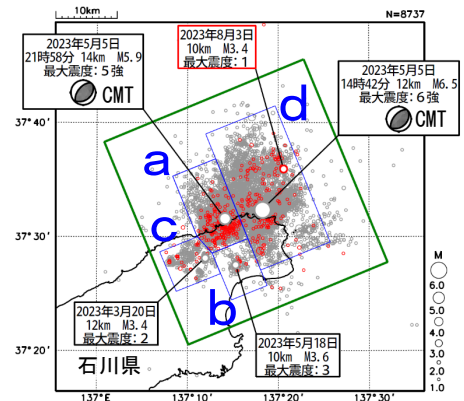


石川県能登地方の地震活動（最近の活動）

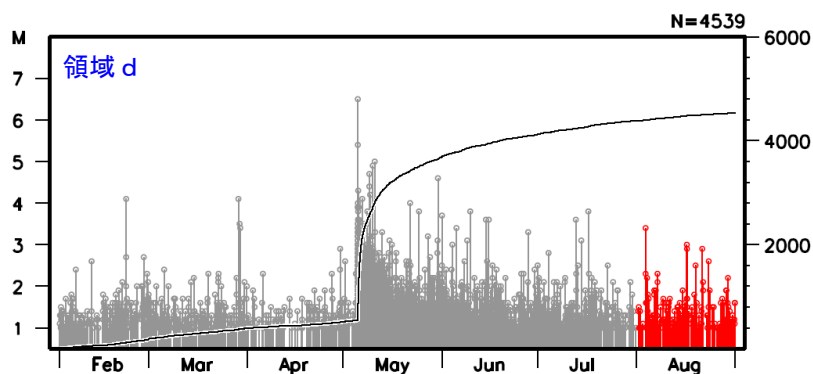
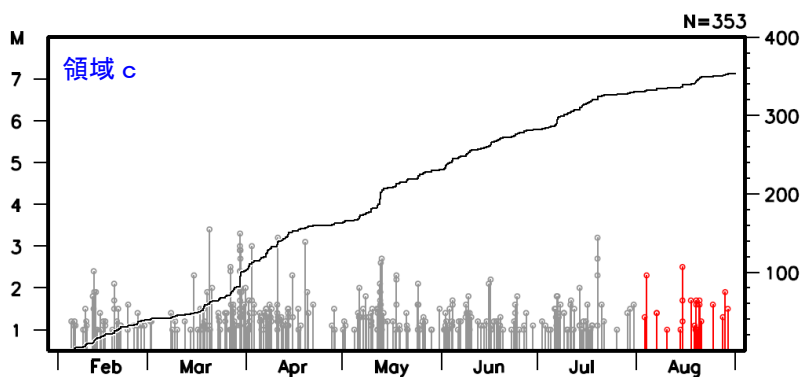
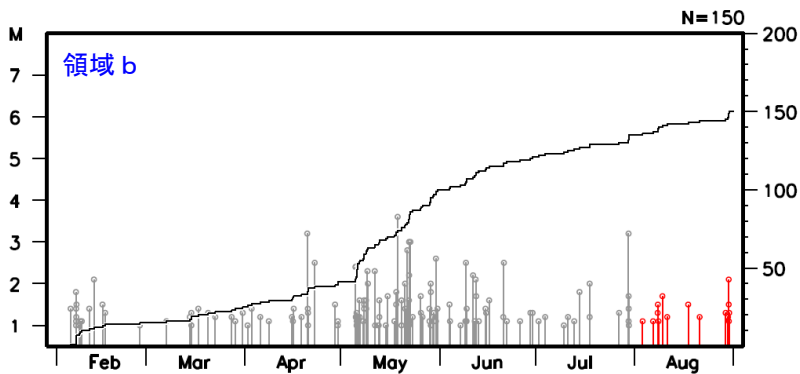
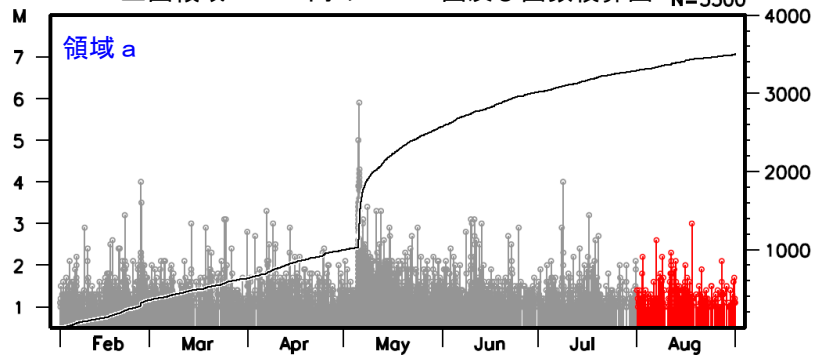
震央分布図
(2023 年 2 月 1 日～2023 年 8 月 31 日、
深さ 0～25km、 $M \geq 1.0$)

2023 年 8 月の地震を **赤色** で表示

- ・ 黒色の吹き出し：領域 a～d の各領域内で最大規模の地震
- ・ 赤色の吹き出し：緑色矩形内で 2023 年 8 月中の最大規模の地震、

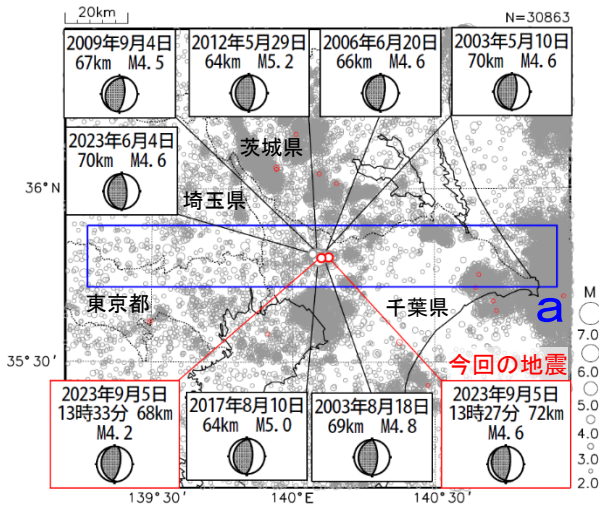


上図領域 a～d 内の M-T 図及び回数積算図



9月5日 千葉県北西部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2023年9月6日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)
2023年9月の地震を赤色で表示

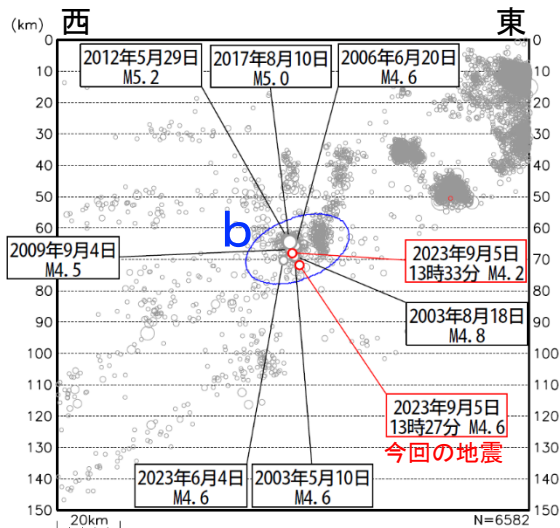


2023年9月5日13時27分に千葉県北西部の深さ72kmでM4.6の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。また、この地震の震源付近では、同日13時33分に深さ68kmでM4.2の地震(最大震度2)が発生した。

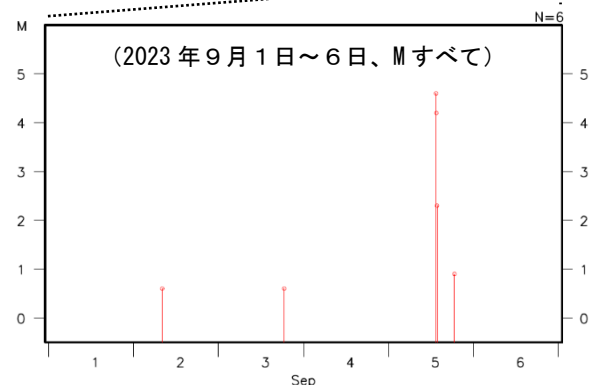
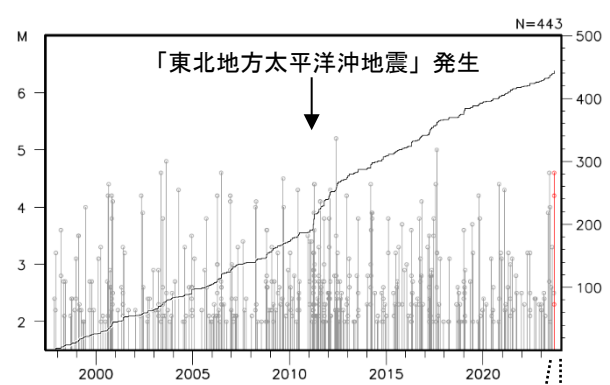
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は、M4.0以上の地震がしばしば発生している。また、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)の発生以降、地震活動が一時的に活発になった。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震が時々発生している。1956年9月30日に発生したM6.3の地震(最大震度4)では、負傷者4人などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

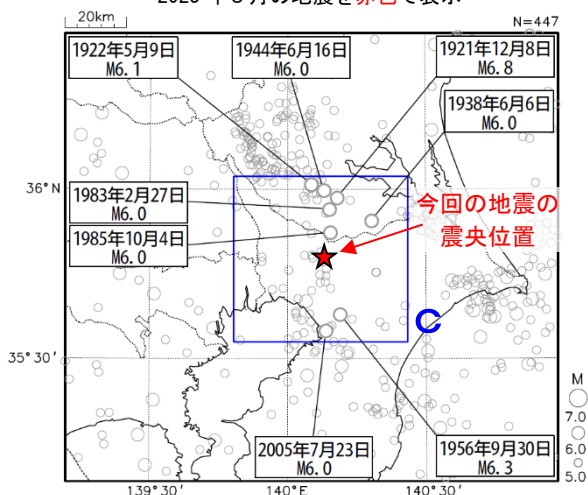
領域a内の断面図(東西投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2023年9月6日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)
2023年9月の地震を赤色で表示



領域c内のM-T図

